

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~8日	1月 ~13日	1月 ~20日	1月 ~27日	2月 ~3日	2月 ~10日	2月 ~17日	2月 ~24日	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日	3月 ~31日	4月 ~7日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	5	18	21	12	12	12	15	7	22	17	14	23	0 (22)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	11	30	27	17	23	24	20	14	14	10	14	16	22 (23)	19
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	0	3	2	0	0	0	2	1	0	4	4	2	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	2	4	3	1	3	3	0	3	3	3	4	0	2	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	3	7	6	6	4	5	2	5	6	1	4	4	7	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	5	9	7	2	4	8	6	5	0	3	3	3	2	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成31年第14週(4月1日~4月7日)

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2					2		
三類	0	発生なし	0							
四類	1	日本紅斑熱	1			1				
五類全数	17	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1			
		急性脳炎	1					1		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1						1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2			1				1
		梅毒	1					1		
		百日咳	6	2				2	1	1
		風しん	2	2						
麻疹	1				1					

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島市、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世理町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第14週 4/1~4/7)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 梅毒

1件の報告があり、今年の累計は20件となりました。
近年、梅毒の報告数が増加しており、2018年は105件と過去最多となりました。
梅毒は、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

梅毒の年間報告数の推移

※2019年は第1~14週



2. 感染性胃腸炎

小児科定点から定点当たり6.00人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、基幹定点から8人の報告があり、増加傾向がみられるため、注意が必要です。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	53	1.47	2.71	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.09	0.48	◇
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.22	◇		RSウイルス感染症	15	0.65	0.14	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.30	2.01	◇		急性出血性結膜炎	-	-	-	◇
	感染性胃腸炎	138	6.00	7.44	◇	基幹	流行性角結膜炎	5	0.63	0.60	◇
	水痘	13	0.57	0.58	◇		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	◇
	手足口病	1	0.04	0.29	◇		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	◇
	伝染性紅斑	8	0.35	0.21	◇		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.06	◇
	突発性発しん	5	0.22	0.47	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇
	ヘルパンギーナ	-	-	0.10	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	8	1.14	1.72	◇

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)
 増減 ↓ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)
 微増減 ⇄ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)
 横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	48	男性(50歳代)、男性(80歳代)
5	急性脳炎	1	8	女性(10歳未満)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	女性(90歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	3	男性(40歳代)・感染者
5	梅毒	1	20	男性(30歳代)
5	百日咳	2	17	男性(10歳未満)、女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.3) 咽頭炎 頭痛 関節痛	23 女	2019/01/16	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 上気道炎 鼻炎	2 男	2019/02/05	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 咽頭炎	1 女	2019/02/25	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型 ライノウイルス
インフルエンザ	発熱(37.1) 頭痛	81 女	2019/02/27	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.6) 鼻炎	11 女	2019/03/01	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0)	4 男	2019/03/03	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	1 男	2019/03/03	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
咽頭結膜熱	発熱(39.0) 紅斑 上気道炎 腹痛 リンパ節腫脹	4 男	2019/02/09	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(37.3)	5 男	2019/01/21	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型 A群溶血性レンサ球菌T1型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱 発疹 上気道炎 リンパ節腫脹	4 女	2019/03/01	咽頭拭い液	RSウイルス
感染性胃腸炎	発熱(37.8) 嘔吐 下痢	1 女	2019/02/26	糞便	A群ロタウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載